

憧れの仕事から誇れる仕事に

三共(株)仙台支店 佐々木 こと美さん

幼いころからモノを作ったり書いたりすることが好きな性格で、中学時代に「ほかの人と違うことをしたい」「なにかのエキスパートになりたい」と考えるようになり、秋田工業高等専門学校へ入学した。秋田高専の環境都市工学科に5年間在籍した後、2年間の環境システム専攻へ進学。学生時代には、製図、コンクリート、地盤に関する授業を受け、そのほか供試体の引張試験や測定の作業を通じ、現在の仕事に繋がる経験を積む。知識と経験を生かして社会貢献できる仕事がしたいと考え、卒業後は主に土木・建築事業、そのほか緑化事業などを営む秋田に本社を構える三共(株)に入社。会社全体で女性技術者は佐々木さんただ一人のため、その活躍に期待されている。現在は仙台支店に勤務し、宮城県の菖蒲田地区海岸外災害復旧工事に携わる。



出身 秋田市
社歴 2014年10月入社

現在の仕事の内容について

主に現場管理や測量をしています。構造物を作る前に丁張りをかけてその高さを見たり、構造物を作る時に、その位置を図面から座標を取って現地にポイントを落としていく作業などを行っています。社会に貢献し、幸せを築く基盤作りの仕事に憧れてこの世界に飛び込みましたが、最初は覚えることがたくさんありすぎて辛かったですし、悔しい思いもたくさんしました。でも、今は被災地で人の命を守るものを作っているのです、とても大変な仕事ではありますが、ここでの経験から、憧れとして見ていた仕事が、今では誇れる仕事へと変わりました。



七ヶ浜町で進行中の菖蒲田地区海岸外災害復旧工事で採寸している様子（左が佐々木さん）

仕事のやり甲斐いや喜びは

工事をしているので、騒音や交通規制などで近隣住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、その中でも「頑張ってるね」「ありがとう」と声をかけてもらい、その時はとっても嬉しい気持ちになりますし、やって良かったなと思います。土木の仕事に対して世間が抱くイメージや魅力は、プラスよりもマイナスが先行していると思いますが、この仕事から得られる満足度は大きいですね。大変な仕事ではありますが、それ以上に充実感ややり甲斐がたくさん感じられるので、とても魅力ある仕事だと思います。でも、辛かった思い出もあり、一番ショックだったのは急いでいる時に丁張りを間違えてしまい、下請けさんを待たせてしまったことです……。あの時は本当に申し訳なかったと思います（笑）。

現場に女性がいることのメリットや思うことは

自意識過剰かもしれませんが、コミュニケーション能力が高いことだと思います。現場が和むと言っていたり、現場でも気軽に声をかけてくれたりするので、自然と会話が増え、結果として作業ミスも少なくなるのではないのでしょうか。そして、今回の取材のように、女性だからということで注目してもらえることですね。

趣味やプライベートの過ごし方は

趣味は、美味しいものを食べたり、お酒を飲むことです。食べ物ではラーメンと焼き肉が大好きで、ラーメンでは特に二郎系が好きですね。ストレスが溜まったら、ラーメンか焼き肉を食べて、カロリーをたくさん摂取してストレスを解消します（笑）。

今後の目標や抱負をお願いします

一つの現場を最初から最後まで手がけてみたいです。今の現場は最初から最後までいる予定になっているので、その中でいろんなことを経験して力を付けていきたいですね。そして、生意気かもしれませんが、なかなか取れないような難しい資格にもチャレンジしていきたいです。まだ具体的には言えませんが、勉強は好きなので、頑張ってる資格を取り、仕事の幅を広げていきたいです。その結果、女性だからということで注目されるのではなく、これがすごいから、こんなのを現場で動かしているとか、自分の技術面で注目してもらえるように頑張っていきたいです。